

動作環境

ソフトウェア名	サーバー動作OS	クライアント動作OS	サーバーアシスタント動作OS*
Enterprise Postgres Community Edition	Microsoft® Windows Server® Red Hat Enterprise Linux SUSE Linux Enterprise Server	Windows® Microsoft® Windows Server® Red Hat Enterprise Linux SUSE Linux Enterprise Server	—
Enterprise Postgres Standard Edition	Microsoft® Windows Server® Red Hat Enterprise Linux SUSE Linux Enterprise Server Oracle Solaris	Windows® Microsoft® Windows Server® Red Hat Enterprise Linux SUSE Linux Enterprise Server Oracle Solaris	Microsoft® Windows Server® Red Hat Enterprise Linux SUSE Linux Enterprise Server
Enterprise Postgres Advanced Edition			

各OSのバージョン、その他動作環境の詳細は、製品ホームページをご確認ください。

*1 データベース二重化を利用する場合に使用

機能一覧

PostgreSQL の機能に加え、強化した機能の一覧です。

機能分類	機能	CE	SE	AE		
導入・運用	WebAdmin / pgAdmin	—	○	○		
	スマートセットアップ™	—	○	○		
	Global Meta Cache	—	—	○		
セキュリティ	透過的データ暗号化	—	○	○		
	秘匿化	—	○	○		
	監査ログ	—	—	○		
高性能	並列検索	○	○	○*1		
	インメモリ機能	—	—	○		
	高速ローダー	—	—	○		
高信頼	データ保護	スマートリカバリー™(バックアップ & リストア)	—	○	○	
		高速バックアップ	—	—	○*2	
		WAL二重化	—	○	○	
	業務継続	データベース二重化	同期反映 (ネットワーク連携方式)	—	○	○
			自動切替え / 副サーバ参照	—	○	○
		Connection Manager	—	—	○*2	
		災害対策	○	○	○*1	
アプリケーション インターフェース	Java連携	○	○	○		
	ODBC連携	○	○	○		
	.NET Framework連携	○	○	○		
	埋め込みSQL連携 (C 言語)	○	○	○		
	埋め込みSQL連携 (COBOL)	—	○	○		

○：標準 —：機能提供なし

CE：Enterprise Postgres Community Edition, SE：Enterprise Postgres Standard Edition, AE：Enterprise Postgres Advanced Edition

*1 Enterprise Postgresによる強化機能を含む

*2 Linux版のみ提供

* PostgreSQLはPostgreSQLの米国およびその他の国における商標です。

* Microsoft、Windows、Windows Serverは、米国Microsoft Corporationの米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。

* Red Hatは米国その他の国でRed Hat, Inc.の登録商標または商標です。

* Oracleは、Oracle Corporationおよびその子会社、関連会社の米国およびその他の国における登録商標です。

* SUSEおよびSUSEロゴは、米国およびその他の国におけるSUSE LLCの登録商標です。

* 記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

* 本資料に記載されているシステム名、製品名などには必ずしも商標表示 (TM、®) を付記していません。

製品・サービスについてのお問い合わせは

富士通コンタクトライン(総合窓口)

0120-933-200

受付時間 9:00~17:30(土・日・祝日・年末年始を除く)

富士通株式会社

〒105-7123 東京都港区東新橋1-5-2 汐留シティセンター

<http://www.fujitsu.com/jp/software/enterprisepostgres/>

FUJITSU Software

エンタープライズ ポストgres

Enterprise Postgres

デジタルビジネスを支えるデータベース



shaping tomorrow with you

社会とお客様の豊かな未来のために

お客様のデジタルビジネスを支え、イノベーションを加速

—PostgreSQLをベースに富士通の技術で強化したデータベース—

FUJITSU Software Enterprise Postgres は、先進技術の取り込みが迅速なオープンソースのデータベースに、富士通の独自技術で機能を強化し、大量かつ形式の異なるデータのセキュアでリアルタイムな活用を実現。ワンストップの保守サポートと合わせて提供し、お客様のデジタルビジネスを支え、イノベーションを加速させます。



FUJITSU Software Enterprise Postgres



特長

○ オープンスタンダード

Enterprise Postgres は、OSS(オープンソースソフトウェア)の PostgreSQL をベースとしたデータベースです。PostgreSQL のバージョンアップに追従していくので、OSSによる先進技術をビジネスに適用できます。ビジネスプロセスの革新や新ビジネスの創出など、イノベーションの実現に最適なデータベースです。

○ エンタープライズ利用に求められる機能強化

PostgreSQL は、運用性を高めるチューニングツールや GUI、関連業務システムとのデータ連携を実現する外部データラップなど、業務への適用範囲を広げるオープンソースの周辺ツールが充実しています。Enterprise Postgres は、これらの周辺ツールを包含して提供するとともに、富士通の技術・ノウハウで PostgreSQL の「セキュリティ」「性能」「信頼性」をさらに強化。利用形態やシーンを問わず、PostgreSQL を安心してご導入いただけます。

○ 富士通ならではのサポート

数多くのシステムをサポートしてきたノウハウをもとに、ハードウェアからソフトウェアまでシステム全体を、ワンストップで 24 時間 365 日保守サポートします。PostgreSQL や周辺ツールを含め、問題発生時の修正、確認テストなど、迅速に対応します。サポートは、販売開始から7年間、さらに期間延長を希望されるお客様には、延長サポートを提供します。

【PostgreSQL】

PostgreSQL は、全世界の開発者によって開発・維持されている OSS のデータベースです。コミュニティー設立以来、特定の企業の影響を受けない独立した開発体制による活発な活動により、機能追加と性能改善を続け、業務システムへの適用に十分な機能と性能を兼ね備えているため、企業への導入が進んでいます。

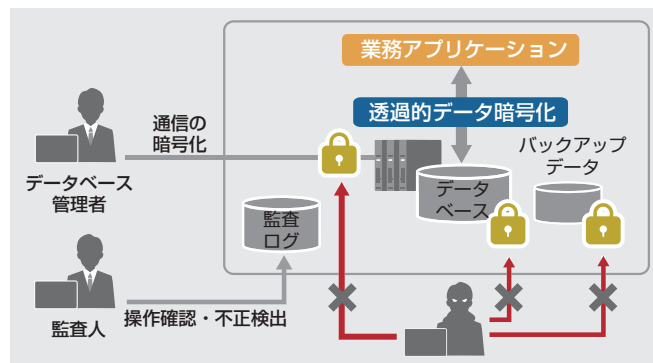
セキュリティ

さまざまな脅威からデータを防衛、不正を検出

—透過的データ暗号化・監査ログ—

既存のアプリケーションを修正することなく、データベースの設定だけで、格納データやバックアップデータを暗号化できます（透過的データ暗号化）。暗号アルゴリズムに、クレジット業界のセキュリティ標準である PCI DSS^{*1}に対応可能な AES^{*2}を採用しています。また、管理者や利用者のデータベースに対する処理操作を監査ログに出し、管理者の権限乱用や利用者の不正アクセスなどを検出できます。

^{*1} Payment Card Industry Data Security Standardの略。クレジット業界のセキュリティ国際統一基準
^{*2} Advanced Encryption Standardの略。米国立標準技術研究所の共通鍵暗号アルゴリズム

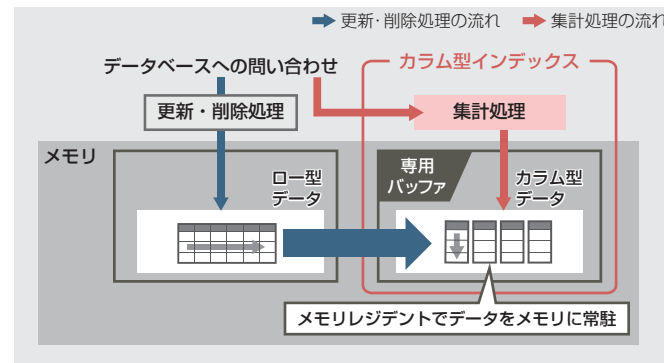


性能

大量データもリアルタイムに集計

—インメモリ機能—

データをロー型とカラム型の2つの形式で整合させながら保持すること（インメモリ機能）で、集計処理のたびに発生するディスク I/O を削減し、集計処理を高速化できます。カラム型データをインデックスとして提供するため、既存業務への影響を抑えつつ、業務データをリアルタイムに利用した集計処理が行えます（カラム型インデックス）。また、カラム型データを専用バッファに配置し、他の表やインデックスへのアクセスの影響を防ぎ、メモリに常駐させることで I/O を削減します（メモリレジデント）。

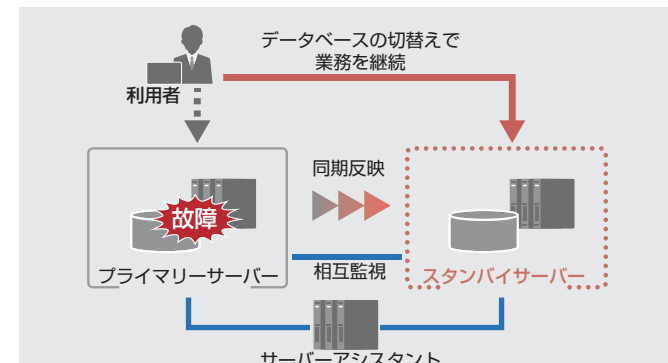


信頼性

万一のトラブル時も確実に業務を継続

—データベース二重化—

2 台のサーバー（プライマリサーバー・スタンバイサーバー）でデータを同期反映し、データベースを完全二重化します。プライマリサーバー、スタンバイサーバーおよびサーバーアシスタントが、2 台のサーバーの状態を常時監視しているため、万一のトラブル時も、データベースを切替えて業務を継続できます。また、データベース二重化運用を再開する際も、業務を継続したまま復旧することができます。



広域災害時の業務継続性を強化

—災害対策機能—

二重化されたデータベースを遠隔地に複製することにより、広域災害に備えた信頼性の高いシステムを実現できます。運用センターでのフェイルオーバー発生時に、運用センターと災害対策センターのログ適用の順序保証により、災害対策センターのログ先行を抑制します。これによりフェイルオーバー発生時も巻き戻し不要で災害対策運用を継続します。また、災害対策センターのプライマリ候補サーバーの障害発生時でも運用センターのプライマリサーバーの接続先を自動で切り替えるため災害対策運用を継続できます。

災害対策センターで障害が発生した場合

